

優秀賞

中学校の部

人とつながる思いやり

鹿ノ台中学校 一年 泉 愛夢

私がこの世界で大切だと思うものは「思いやり」だと思います。私がこう思う理由は、最近このような事を経験したからです。

私は最近まで、体調をくずし三ヶ月入院していました。三月後半から六月後半までの入院だったので、春休みに友達と遊べなかったし、もちろん入学式にも行けませんでした。毎日毎日ひまで、一人で毎日「みんなは何してるかな。」そう考えて過ごしていました。

そんな毎日、いつも私を見て下さっている看護師さん達が、一緒におしゃべりをしてくれました。その看護師さんの一人は、受け持ちじゃなくても、ほぼ毎日私の様子を見に来て、おしゃべりしたり、他愛もない会話で一緒に笑ったりしてくれました。私はそれがうれしくて楽しくて、辛くて楽しくなかった毎日に「パツ」と光が差して、心が軽く

なりました。入学式の日、私は学校に行けませんでした。けれど、お母さんが制服を持って来てくれて、「制服着よう!!」と言ってくれ、病院で制服を着ました。そこで、また来た看護師さんが「制服かわいい!!」と言ってくれ、他の看護師さん、先生まで呼んでくれて、制服を見てもらいました。入学式には行けなかったし、さびしい一日になると思っていたはずが、みんなのおかげで、一生心に残る他の子とは違う幸せな入学式になりました。そんな毎日が続いている間に、私は看護師さんが大好きになり、気づくと何でも話せる友達のような仲良しになっていました。

その看護師さんは、みんなに優しく、周りの人の事をよく見て、すごく素敵な看護師さんでした。私が落ち込んでいるときや、元気がないとき、一番に気づいて、話を聞いてはげましてくれていたのは、いつもその看護師さんでした。私が困っているとき、沢山勇気づけてもらい、いつも助かっていました。しばらくたったある日、私は学校・塾のオ

ンライン授業を受けられる事になりました。その事を学校の先生達・塾の先生に伝えると、WiFiファイの準備、パソコンで時間割を伝えて下さったり、塾ではオンラインのIDを教えしてもらったりしました。そのおかげで、毎日授業を受ける事ができるようになりました。パソコンの角度を変えて下さったり、パソコンに向かって説明して下さいたりしたおかげで、勉強がおくれてしまう不安はやわらぎました。本当に感謝しています。

その他にも、友達や親せきの人、家族が心配してメッセージをくれたり、テレビ電話をしてくれたり、プレゼントをくれたり、私の事を思っ色々な事をしてもらいました。

このような事をしてもらったら、だれだったし、救われました。本当に感謝しています。私は将来、私を救って下さった周りの人のような、人を思いやる看護師さんになりたいです。だれかが困っていたら、絶対に助けようと思います。「人を思いやる」という事は、「人とつながる」という事です。人は一

人では生きていけません。周りの人と協力して、支えてもらって、支えてあげて生きていきます。だからこそ、「思いやり」を持って生きていく事が大切だと私は思います。

「社会を明るく」するために「思いやり」から始めてみませんか。

明るい社会への第一歩

緑ヶ丘中学校 二年 佐藤 穂

今、日本では多くの犯罪や非行が起こっている。例えば、強盗事件や殺人事件、SNSでの誹謗中傷などである。しかし、これらで自分たちでなくしていくというのはとても難しいのではないか。私はそう思ったので、犯罪や非行をほんの少しでも減らせるような、明るい社会へ向けて私たちができることについて考えた。

私は、社会を明るくするため、「命の大切さを知ること」、「自分と相手のことをよく考えること」、そして「日頃から感謝や謝罪の気持ち伝えること」の三つが第一歩になると思った。

まず一つ目の「命の大切さを知ること」は、殺人や自殺などを減らすための第一歩になると思う。そのための取り組みとして、学校で

命の教育が行われたり、子ども向けに絵本が出されていたりする。その取り組みが、自分の命を絶ってしまいう前に踏みとどまったり、殺人をおこしてしまう前に考え直すといったことにつながるかもしれない。それでたった一人の命でも救われたら、少しだけ明るい未来へ近づいたと考えられる。

そして二つ目の「自分と相手のことをよく考えること」は、相手への思いやり、優しい声かけなどだけではなく、自分のこともよく見て気にかけるのが大事だと思ったからだ。自分のことを大切にできる人はきつと相手のこともよく見えている人なんだと思う。がまんをしすぎる人や、反対に自分勝手すぎる人が増えていくのでは明るい未来にはつながらないのではないか。今、多くの小中学校

で思いやりの心を育んだり、自分を大切にしようするための指導の工夫がされている。小学生や中学生までもがインターネットを使え

るような時代なので、画面の向こう側にいる人のこともしっかり考えられる人たちが増えていくと良いと思う。

三つ目の「日頃から感謝や謝罪の気持ちを伝えること」は当たり前前かもしれないけれど、大事だと私が考えた。例えば、普段「ありがとう」の言葉を言わず自己中心的な人は周りの信頼がなく、いざというときにも助けてもらえないかもしれない。しかし、いつも感謝の気持ちを忘れない人は人間関係を豊かにし続けられるため、トラブルも少ないと考えられる。自分も良い気持ちになれるので、前向きに生活を送れると思う。私の周りにも、感謝や謝罪をしっかりとできる人はたくさんいる。「ありがとう」、「ごめん」、「いいよ」などの言葉がよく聞こえると雰囲気はよくなる。だから、みんなが温かい気持ちになって、非行は減ると思った。

このように、私たちの少しの意識が犯罪や非行を減らして明るい社会への第一歩となる。私は、相手のことをもつと考えたいと思った。また意識しなくても自然と感謝が伝えられる

ようになりたい。そして、学校で行われる命の授業などを、今まで以上にしっかりと考えながら受けたと思う。それで、社会が少しでも明るい方向へ向かえたらいいなと思った。

心から感謝をこめて

光明中学校 三年 澁谷 彩羽奈

私は勉強を頑張っています。しかし、学習塾には通っていません。だから、勉強している分からないことがあったらいつも母に質問しています。定期テストの前に、私はいつも発展的な問題に挑戦します。すると毎回、問題集の解説を呼んでも理解できない問題がいくつも出てきます。そんなときに、母に助けを求めます。数学の複雑な計算問題や、理科の化学変化の問題などについての様々な疑問に、母は私と一緒に考えて、丁寧に説明してくれます。私は完全に理解するまでスッキリしない性格なので、かなりしつこく質問を浴びせます。それでも母は怒ったりせず、何度も解説してくれます。それだけでなく、先日二人で疑問を解決した後、

「こうして考えてたら、脳が活性化しそうでいいなあ。」

と笑っていました。この人がお母さんで本当によかったと心から思いました。

先日、母の日だったので、いつもお世話になっていた母に、マルグリータを作りました。そして、

「いつもありがとう。」

と伝えました。感謝の気持ちを言葉にするのは、なぜか少し照れくさかったですが、母は喜んでくれましたし、マルグリータもおいしくできていると言ってくれました。少し恩返しのできた気がして心がほかほかしました。何より、母の喜ぶ顔を見て、雲一つない青空のような澄んだ明るい気持ちになりました。感謝を伝える大切さを学びました。

いつも朗らかな母ですが、時には厳しいです。以前、私がテストの結果が悪くて落ちこんでいたときに、

「落ちこんでどうするの。」

と怒られました。私はテストの結果と母に怒られたことに打ちひしがれて、しばらく呆然

としていました。しかしその後、母が私に板チョコを買ってきてくれました。

「だいぶテストにショック受けてそうだったから。」

三年ほど前の話ですが、あの日母の優しさに胸いっぱいになったことは忘れません。

私は、母に支えてもらっています。そしてそれに感謝を伝えた経験から、社会を明るくするためには、人を助けることはもちろん、自分が誰かに助けてもらったなら、きちんと感謝を伝えることが大切だと考えます。感謝を伝えるというのは当たり前のことだと思いますが、実際には助けてもらうことに慣れて謝意を示すことがおろそかになっていたり、忘れていたりする人が多いと考えます。私自身、家族、友達など周りの人に数え切れないほど助けてもらっているのに、それら全部に対してきっちり感謝は伝えられていないです。今一度、自分の日々を振り返ってみて、自分を助け支えてくれてる人に、その人の目をまっすぐ見て、「ありがとう。」を伝える必要があると思います。お礼を目に見える形にで

きたらより良いです。真摯に感謝を示す人は、きつと自然に周りから助けてもらえると思います。そして、お礼をするだけでなく人を助けられる努力をしましょう。「ありがとう」を相手に届けられたら、春のひだまりのように温かく、同時にすっきりした気持ちになります。感謝を受けとる側も嬉しいです。人の力になれば、気持ちいいですし、助けてもらった人も心が和みます。

みんなに人を助けることと、しっかり感謝を伝えることが広がれば、社会は明るく温かく、暮らしやすくなると私は考えます。母のように、人が困っている時に寄りそえる人間になりたいです。それから、お母さんへ、いつもありがとうございます。



サラちゃん

特別賞

バス停の掃除

鹿ノ台小学校 五年 奥谷 隼翔

僕はあるバス停の掃除をお父さんと一緒にボランティア活動で掃除をしました。ボランティア活動の掃除では約50人ほどの人が来ていてとても人がいました。僕は掃除をしているときに煙草の吸殻やレジ袋、お菓子のゴミまで捨てられているのを発見しました。街中のいたるところにゴミがポイ捨てされていて

このポイ捨てはおそらく誰かが「ちよつとだけならいいか」と少しも罪悪感がなく、わざと捨てたものだと思いつつ帰りました。家に帰ってゴミを捨てるような事が起きるか考えたりパソコンを使って調べてみました。そして僕は調べ終えそれぞれどんなゴミがどんなことを引き起こすのかノートにまとめてみました。煙草の吸殻は近くの木や草に引火する恐れがありとても危険で、レジ袋は過去に人がふんでコケてしまい怪我をしたというのがニュースでやっていました。その他にも

あまり害はありませんがお菓子のゴミや食べ物が捨てられていると、匂いが臭くなったり嫌な虫が集まってくるかもしれません。僕は掃除をして街の危険性をちよつとでもさげただなと思いつてもいい気持ちになりこれからも掃除をどんどんしていこうと心に決めました。最初はジュースやお菓子がもらえるからいつも行っていました、ゴミのことを調べてから街の危険性をさげるために掃除に行くようになりました。来週にまた掃除があるという情報が入ったのですぐに掃除に行きました。バス停についてそこで見た光景は言葉も出ませんでした。なんと今までとゴミの量が2倍以上になっていたので。それを見た瞬間心の底から怒りと悲しみがこみ上げてきて、すぐに一緒に掃除をしようとしていた友達とせつせと掃除をしました。そしてやった掃除をやるとなにかいっもより2倍以上心が軽くなりました。次の日は僕は暇になったのでバス停ではなく公園の掃除を親友と掃除しに行きました。相変わらずたくさんポイ捨てされていて今回はトングと